

チャレンジ杯野球大会実施におけるガイドライン

NPO 法人チャレンジ夢クラブは、チャレンジ杯野球大会実施におけるガイドラインを次のとおり定め、新型コロナウイルス感染防止に努めます。

（1）参加チームの選手及びチーム関係者の事前注意事項

- ① 発熱、咳、倦怠感などの風邪症状及び味覚嗅覚を感じない者の参加は認めない。
- ② 14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めない。
- ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- ④ 選手、チーム関係者、役員（運営スタッフ）、審判員は球場に入る際、必ずマスクを着用すること。
- ⑤ 手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行。
- ⑥ 大会当日、参加関係者全員の健康チェックシートを提出すること。
- ⑦ 屋外利用施設内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
- ⑧ 感染者が発生した場合には、大会を即中止とする。
- ⑨ 大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表することがある。

（2）参加者チームの対応

- ① 参加者は検温を実施し会場に来ること。
- ② チーム代表は健康チェックシートを大会本部に提出すること。
- ③ ベンチ内では一定間隔を保つよう努力すること。
- ④ 試合において、全選手が密集・密接する円陣や声出しなどを控える。
- ⑤ ベンチ内に居る時は、マスク着用を推奨するが熱中症予防に配慮すること。
- ⑥ 肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、各々コミュニケーション方法を模索すること。
- ⑦ ごみは各自持ち帰ること。
- ⑧ 応援者については、一定の距離を保って観戦するようにチーム毎で応援者に注意喚起を行うこと。

（3）当法人（主催者）の対応

- ① 健康チェックシートを作成し、参加チームだけでなく、運営スタッフ及び審判員も当日提出する。
- ② 当法人で入口などに貼り紙や放送器具により注意喚起を呼びかけること。
- ③ 試合会場に消毒液などを設置する。

- ④ 試合間のインターバルを通常より長く設定し、選手並びに関係者の密集のリスクを回避する。
- ⑤ 大会において、万が一感染者が発生した場合は大会の即中止を判断し、関係機関に報告する。
- ⑥ 万が一感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることが無いよう配慮する。
- ⑦ その他、必要と思われることを配慮する。